



## 2024年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年8月1日

上場会社名 株式会社 カナデン

上場取引所 東

コード番号 8081 URL <https://www.kanaden.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 本橋 伸幸

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部長 (氏名) 黒田 暢彦

TEL 03-6747-8805

四半期報告書提出予定日 2023年8月4日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	24,703	27.6	522	276.5	776	109.7	513	183.1
2023年3月期第1四半期	19,355	8.6	138	31.9	370	163.8	181	260.0

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 812百万円 (208.9%) 2023年3月期第1四半期 263百万円 (117.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	21.92	
2023年3月期第1四半期	6.81	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第1四半期	75,345	44,684	59.3	1,907.01
2023年3月期	83,294	44,379	53.3	1,893.95

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 44,684百万円 2023年3月期 44,379百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		17.00		22.00	39.00
2024年3月期					
2024年3月期(予想)		23.00		23.00	46.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	52,000	14.1	1,250	5.6	1,250	24.9	800	25.7	34.14
通期	113,000	6.2	4,500	13.4	4,500	6.0	3,000	3.6	128.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - 以外の会計方針の変更 : 無
  - 会計上の見積りの変更 : 無
  - 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期1Q	23,600,000 株	2023年3月期	23,600,000 株
期末自己株式数	2024年3月期1Q	168,082 株	2023年3月期	168,009 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期1Q	23,431,937 株	2023年3月期1Q	26,635,590 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点において入手している情報に基づいております。なお、上記の予想の前提条件その他の関連する事項については、添付資料3ページをご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く事業環境は、物価高による個人消費の下押し要因はあるものの、新型コロナウイルスの5類感染症への移行に伴う経済活動の正常化や雇用・所得環境の改善により回復傾向にあります。また、堅調な企業収益等を背景にデジタル化・脱炭素化をはじめとした設備投資が回復基調で推移しており、内需を中心に緩やかに持ち直しております。一方、ロシアのウクライナ軍事侵攻は引き続き予断を許さず、欧米の金融不安や中国経済の減速など、海外経済の景気下振れリスクが懸念され、依然として先行き不透明な状況となっております。

このような状況下、当社グループは、5ヵ年中期経営計画『Electronics Solutions・Company 2025 (ES・C2025)』の3年目として、技術力・企画力を高め、グループ内外との連携強化を図り、オリジナルソリューションの提供を通し、高付加価値ビジネスを追求するとともに、社会の変化に即応し、SDGsへの取り組みを通じて、社会課題の解決に貢献し持続的な成長を実現する「エレクトロニクスソリューションズ・カンパニー」となることを目指し取り組んでおります。

これらの取り組みにより、製造業の設備投資需要も回復基調にあり、FAシステム事業が順調に推移しました。また、情通・デバイス事業では、半導体・デバイス分野が堅調を持続したことに加え、情報通信分野で電子医療装置案件が増加したことから、売上・利益に貢献しました。

その結果、当第1四半期連結累計期間における売上高につきましては、24,703百万円（前期比5,348百万円増）となり、経常利益につきましては、776百万円（前期比406百万円増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、513百万円（前期比332百万円増）となりました。

### セグメント別の営業の概況

(単位：百万円)

		前第1四半期連結 累計期間	当第1四半期連結 累計期間	増減額
FAシステム事業	売上高	8,361	9,849	1,488
	経常利益	249	441	192
ビル設備事業	売上高	1,515	2,394	878
	経常利益	△161	△153	7
インフラ事業	売上高	3,269	3,658	389
	経常利益	△118	△135	△17
情通・デバイス事業	売上高	6,208	8,801	2,592
	経常利益	189	417	228

#### ①FAシステム事業

FA分野は、半導体不足による納期長期化の影響が継続しておりますが、一部機種に改善の兆しも見られ、製造業の設備投資が回復基調にあることからコントローラシステムや駆動制御機器を中心に順調に推移しました。

産業メカトロニクス分野は、レーザ加工機が案件減少しました。

産業システム分野は、プラントメーカー向け電機品の大型案件等があり堅調に推移しました。

その結果、当該事業としては1,488百万円の増収となり、経常利益は192百万円の増益となりました。

#### ②ビル設備事業

設備機器分野は、情報通信事業者向け受変電設備案件が増加し、堅調に推移しました。

空調・冷熱機器分野は、店舗向け設備投資の回復により空調機器が順調に推移し、住設機器も堅調に推移しました。

その結果、当該事業としては878百万円の増収となり、経常利益は7百万円の増益となりました。

#### ③インフラ事業

交通分野は、受変電設備は案件減少し苦戦しましたが、車両機器は大口案件があり増加しました。

社会システム分野は、官公庁案件が前年並みで推移しました。

その結果、当該事業としては389百万円の増収となりましたが、経常利益は17百万円の減益となりました。

④情通・デバイス事業

情報通信分野は、金融機関向け画像・映像機器が順調に推移しており、電子医療装置の案件も増加し好調に推移しました。

半導体・デバイス分野は、産業機器関連顧客からの産業用パワーデバイスの受注は引き続き好調に推移し、電子デバイス品はOA機器顧客向けが順調に推移しました。一方で、データセンター向けHDD用ICは需要減少により苦戦しました。

その結果、当該事業としては2,592百万円の増収となり、経常利益は228百万円の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、75,345百万円（前期末比7,949百万円減）となりました。

流動資産は、60,737百万円（前期末比8,078百万円減）となりました。これは、前連結会計年度末と比較して、商品及び製品が870百万円増加、現金及び預金が839百万円増加した一方で、売掛金が9,365百万円減少、未収入金が1,262百万円減少したことが主要な要因であります。

固定資産は、14,608百万円（前期末比128百万円増）となりました。これは、前連結会計年度末と比較して、投資有価証券が443百万円増加した一方で、繰延税金資産が363百万円減少したことが主要な要因であります。

一方、流動負債は、29,539百万円（前期末比8,246百万円減）となりました。これは、前連結会計年度末と比較して、電子記録債務が667百万円増加した一方で、買掛金が7,638百万円減少、未払法人税等が977百万円減少、賞与引当金が807百万円減少したことが主要な要因であります。

固定負債は、1,120百万円（前期末比8百万円減）となりました。

純資産は、44,684百万円（前期末比305百万円増）となりました。これは、前連結会計年度末と比較して、親会社株主に帰属する四半期純利益を513百万円計上、配当金の支払が515百万円あったこと等により、利益剰余金が1百万円減少した一方で、その他有価証券評価差額金が303百万円増加したことが主要な要因であります。

その結果、当第1四半期連結会計期間末における自己資本比率は59.3%、1株当たり純資産額は1,907円01銭となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期の業績については、現時点では2023年5月12日に公表しました業績予想から変更していません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	15,339	16,178
受取手形、売掛金及び契約資産	32,075	22,976
電子記録債権	7,174	7,693
商品及び製品	11,370	12,240
原材料及び貯蔵品	1	1
その他	2,859	1,648
貸倒引当金	△4	△3
流動資産合計	68,815	60,737
固定資産		
有形固定資産	8,541	8,488
無形固定資産	1,281	1,378
投資その他の資産		
投資有価証券	3,883	4,326
その他	809	480
貸倒引当金	△37	△65
投資その他の資産合計	4,655	4,741
固定資産合計	14,479	14,608
資産合計	83,294	75,345

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	27,363	19,729
電子記録債務	5,081	5,748
未払法人税等	1,067	90
引当金	1,340	437
その他	2,932	3,533
流動負債合計	37,785	29,539
固定負債		
退職給付に係る負債	859	853
その他	270	267
固定負債合計	1,129	1,120
負債合計	38,915	30,660
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,576	5,576
資本剰余金	5,343	5,352
利益剰余金	31,313	31,312
自己株式	△193	△193
株主資本合計	42,039	42,046
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,139	1,442
土地再評価差額金	378	378
為替換算調整勘定	410	419
退職給付に係る調整累計額	410	397
その他の包括利益累計額合計	2,339	2,638
非支配株主持分	-	-
純資産合計	44,379	44,684
負債純資産合計	83,294	75,345

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	19,355	24,703
売上原価	16,297	21,195
売上総利益	3,057	3,508
販売費及び一般管理費	2,919	2,986
営業利益	138	522
営業外収益		
受取利息	3	10
受取配当金	40	35
仕入割引	5	4
為替差益	176	168
その他	11	41
営業外収益合計	237	260
営業外費用		
支払利息	2	4
その他	3	2
営業外費用合計	5	6
経常利益	370	776
特別損失		
固定資産除却損	0	0
関係会社株式評価損	26	-
特別損失合計	26	0
税金等調整前四半期純利益	344	776
法人税、住民税及び事業税	8	22
法人税等調整額	154	240
法人税等合計	162	262
四半期純利益	181	513
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	181	513



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	181	513
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△33	303
為替換算調整勘定	137	8
退職給付に係る調整額	△22	△13
その他の包括利益合計	81	298
四半期包括利益	263	812
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	263	812
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				
	FAシステム 事業	ビル設備事業	インフラ事業	情通・デバイス 事業	計
売上高					
外部顧客への売上高	8,361	1,515	3,269	6,208	19,355
セグメント間の内部 売上高又は振替高	21	15	3	23	64
計	8,382	1,531	3,272	6,232	19,420
セグメント利益又は 損失(△)	249	△161	△118	189	159

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	159
全社費用(注)	211
四半期連結損益計算書の経常利益	370

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び営業外損益であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				
	FAシステム 事業	ビル設備事業	インフラ事業	情通・デバイス 事業	計
売上高					
外部顧客への売上高	9,849	2,394	3,658	8,801	24,703
セグメント間の内部 売上高又は振替高	39	14	5	16	76
計	9,889	2,409	3,663	8,817	24,780
セグメント利益又は 損失(△)	441	△153	△135	417	569

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	569
全社費用（注）	207
四半期連結損益計算書の経常利益	776

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び営業外損益であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。